

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

令和 6 年度 1 2 月～3 月実施

(参加者)

◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・(ス-①～⑨)

事業所自己評価・・・・・・・・・・(事-①～⑨)

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・(地①-1～3)

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・(地②-1～6)

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和6年12月11日

1. 初期支援（はじめのかかわり）

氏名 池田 真佐美

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
・ミーティングの充実を図る。（より多くのスタッフが集まりやすい時間帯にミーティングを開催。また定期的に計画しスケジュール調整しやすくする）またミーティング議事録の伝達確認をする ・新人教育マニュアルの作成 ・調理担当者への申し送り。ミーティング内容伝達を確実にする

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	10	0	1

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	9	1	0
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	8	1	0
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2	8	1	0
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2	7	2	0

できている点
・毎月ミーティングの日、担当を決めて確実にミーティング実施できている。休みでも情報発信できるようになった ・初期支援時は声掛けを増やし不安の軽減を図っている ・業務開始時に業務日誌を読み個々の状態把握ができています ・送迎を利用し家族とコミュニケーションをとっている

できていない点
・利用者の情報更新 ・情報把握量に個人差あり ・非常勤の方への情報共有の声掛けが足りない ・新人教育マニュアル作成ができていない ・職員によっては家族と話す機会が少なくニーズの把握不足がある

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）
・ケースカンファレンスの時間が取れなかった、また担当が決まっていなかったため、取り組みへの甘さがあった ・これまであった教育マニュアルの修正、使用をしていたが、新人教育の目的や方法がマニュアル化されていない

スタッフ個別評価・様式

実施日 令和6年12月11日

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

氏名 池田 真佐美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
・情報共有方法を確立する。ファイリングの仕方を統一（ケアプラン→介護計画→評価結果）しスタッフが情報収集しやすくする。さらに評価からさらなる支援へ展開できるよう記録する ・担当スタッフの紹介を家族等へ行い、介護計画を説明する機会を作る

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	0	4	6	1

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	4	5	1
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	5	4	1
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	4	6	1
④ 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	2	8	0

できている点
・情報共有しやすいように、ファイルはまとまりをもって作成した ・担当利用者の目標「〇〇したい」は把握している ・TQM活動で利用者のしたい事の把握に努めた ・カンファレンスに参加し家族の話を聞いた

できていない点
・担当以外の目標の把握 ・介護計画の共有ができておらず、活用ができていない ・利用者や家族へ担当の挨拶ができなかった

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）
・担当介護職員が介護計画を伝達できる時間を作っていない ・実行可能な目標設定ができていない ・利用者の意欲を向上できない

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
・受け持ちとしての役割を明確にする（業務マニュアル追加） ・担当スタッフが受け持ちの利用者の担当者会議や家屋チェックなど参加する機会を作る ・ケースカンファレンスの開催を行う（ミーティング議題に入れる）

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	0	3	6	2

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	3	7	1
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	9	0	0
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2	3	6	0
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	8	1	0
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	8	2	0

できている点
・利用者の心身状況に合わせた基本的ケア ・担当利用者の情報収集 ・体調に合わせた柔軟な対応 ・健康観察と異常の早期発見

できていない点
・ケースカンファレンス ・利用者・家族の気持ちの確認 ・担当職員の担当者会議への参加 ・担当職員の再アセスメントとケア内容変更の提案

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）
・業務に追われ、介護計画の発信の場であるケースカンファレンスの対象者を選定していなかったため確実にできなかった ・夜勤をしている職員が担当者会議に参加できるよう調整が困難である

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	
・地域活動・行事の把握を行い、利用者と参加することを通して自宅生活での支援の輪を広げる ・地域運営推進会議へ職員が交代で参加し、地域の方々との繋がる機会を作る	

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	3	6	2

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	5	5	1
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	3	6	2
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	3	6	2
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	1	4	6

できている点
・地域活動へ参加が少しづつ増えてきた ・本人の情報収集は聞き取りやスタッフ間の情報共有でできている

できていない点
・運営推進会議への参加 ・地域資源の内容や活用方法や、民生委員の把握ができていない ・地域資源をケアに活かせていない

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）
・地域交流が少ないこともあるが積極性も足りない ・事業所内のみでサービス実施してしまう ・運営推進会議への参加者は管理者やケアマネに限られていた

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	
・地域の資源内容を把握する為に地域交流を深める。 ・把握が出来れば事業所だけで支えようとせず活用する。	

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	4	5	2

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	3	6	2
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	8	0	1
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	0	9	2	0
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	0	9	2	0

できている点

- ・ミーティングや記録にて利用者の日々の変化に対する情報共有と、それに対する柔軟なサービス対応ができている
- ・行事を通して利用者と地域の方々との交流の場を設けることができた
- ・地域資源の活用 2件

できていない点

- ・地域資源の活用支援
- ・限定的な地域の方のみではなく、さらに多くの地域住民との交流ができていない
- ・利用者ニーズへの柔軟な対応が乏しい

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・地域資源の勉強会をしなかった
- ・地域の方との交流機会がない
- ・突発的な出来事への対応が不慣れである

スタッフ個別評価・様式

実施 日	令和6年 12月 11日
---------	--------------

6. 連携・協働

氏名	池田 真佐美
----	--------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
・地域行事等の情報共有を運営推進会議で聞く機会を作る ・回覧板で大和の広報及び地域との連帯を深める機会を頂く ・ケアマネや管理者以外の職員も担当利用者のカンファレンス等に参加できるようにする

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	1	2	4	4

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	4	0	6
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	1	8
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	5	1	5
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	6	3	1

できている点
・保育園との交流 ・地域イベントへの参加。関りが増えた ・ボランティアとの関りが増えた ・運営推進会議の内容確認、回覧板での行事内容など把握できるようになった ・法人サービスを中心に多職種との関りは増えた

できていない点
・運営推進会議他。様々な会議への参加（かかわるスタッフが限定的） ・関わる地域の方が限定的 ・地域住民との交流拠点とまではなっていない

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）
・地域全体への情報発信不足 ・地域の活動、イベントをしらない

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
・感染対策を継続しつつ、地域に必要とされる支援ができるよう地域の方々（まずは運営推進委員やボランティアの方等）と情報交換・共有の機会を定期的に持ち、運営に反映していく

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	2	4	1	4

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	4	5	1
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	9	1	1
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	4	5	3
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	1	2	3	5

できている点
・職員全体で利用者等からの意見や苦情の共有、それに対する対応の話し合いができている ・職場の雰囲気も良く意見が言いやすい ・運営推進会議の内容は議事録や、参加スタッフの発信で情報共有できている ・保育園行事に参加するなど、少しずつ地域との繋がりができてきた

できていない点
・地域行事へ積極的に参加できておらず、関りはまだ薄い、共同での取り組みがない ・事業所のあり方がどうあるべきか理解できていない

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）
・業務をこなすことで精一杯であり、地域行事などに業務として参加させることが困難 ・地域拠点づくりの具体策が検討できなかった

スタッフ個別評価・様式

実施
日 令和 6 年 12 月 11 日

8. 質を向上するための取組み

氏名 池田 真佐美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	
法人内外、事業所内の研修及び勉強会の計画を立てるとともに、参加できる環境を整えスキルアップ・サービスの質向上を図っていく	

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	5	2	3

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1	5	4	1
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	3	3	5
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	1	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	8	1	2

できている点
・定期的な事業所内勉強会は実施できた（担当者の学習機会となった） ・資格取得のため勉強している ・介護福祉士合格 2 名 ・法人の研修（オンライン）に参加している ・事故防止などリスクに関する報告と対応についての話し合い ・生産性向上委員としての勉強とマネジメント

できていない点
・自発的な研修参加 ・地域連絡会への参加

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）
・目指す資格、スキルアップ等の意欲が乏しい ・目標設定、管理についての支援不足 ・地域連絡会のような会議参加機会がなかった

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- ・ケアの場面において、不適切なケアを是正し、虐待の芽を摘む。(スピーチロック「ちょっと待って、動かないで」・言葉のかけ方や声のトーン等に配慮)
- ・身体拘束・虐待防止・成年後見制度の勉強会を実施し理解を深める
- ・環境、空間を上手く活用し、プライバシーの保護に努める

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	7	1	2

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	身体拘束をしていない	2	9	0	0
②	虐待は行われていない	2	9	0	0
③	プライバシーが守られている	0	8	3	0
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	1	0	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	0	8	3	0

できている点

- ・言葉遣い、口調に気をつけている
- ・不適切なケアについて早期に話し合い、検討している
- ・スピーチロックしないよう声掛けの仕方に気をつけている
- ・度々の勉強会で振り返り、学びを深めている
- ・利用者の情報は口外しない

できていない点

- ・気持ちに余裕がない時良い声掛けができず、対応も雑になってしまうことがある
- ・スタッフの声が大きい
- ・利用者がそばにいるのに声の大きさや場所を配慮せず、申し送りや情報交換が行われていることがある
- ・成年後見制度の対象者はいない

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- ・時間に追われている所へ、利用者の問題行動が見られるとき、感情コントロールが難しくなる
- ・不適切なケアへの自覚がないため、気づいていないことがある。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月11日(13:30~14:30)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	池田・篠塚・藤本・岸本・中道・清水・中村・竹野・白川・井・松村

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	0人	1人	11人

前回の改善計画	・ミーティングの充実を図る。(より多くのスタッフが集まりやすい時間帯にミーティングを開催。また定期的に計画しスケジュール調整しやすくする) またミーティング議事録の伝達確認をする ・新人教育マニュアルの作成 ・調理担当者への申し送り。ミーティング内容伝達を確実にする
前回の改善計画に対する取組み結果	・ミーティングの日を決め確実にミーティングを開催した ・ミーティングに参加できないスタッフには議事録を必ず閲覧しサインをするなど情報伝達を確実にした ・業務マニュアルの修正はできたが新人教育マニュアルまでは作成できていない ・調理担当者、非常勤職員には業務上必要な内容のみを選定し伝達した

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9	1	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	8	1	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	8	1	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7	2	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎月ミーティングの日、担当を決めて確実にミーティング実施できている ・初期支援時は声掛けを増やし不安の軽減を図っている ・業務開始時に業務日誌を読み個々の状態把握ができている ・送迎を利用し家族とコミュニケーションをとっている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の情報更新と新人教育マニュアル作成 ・情報把握量に個人差あり、ケースカンファレンスが確実にできていない ・出勤時間が遅い非常勤の方への情報伝達・共有が足りない ・職員によっては家族と話す機会が少なくニーズの把握不足がある	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ケースカンファレンスを確実に実施し、利用者や家族のニーズを職員全員が紙面でも共有できるようにする(役割担当があり、全職員が利用者家族にかかわる機会には差がでるのは仕方ない現状がある) ・新人教育マニュアル作成(目的や理念を入れ活用方法まで確立する)	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 11 日 (13 : 30～14 : 30)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	池田・篠塚・藤本・岸本・中道・清水・中村・竹野・白川・井・松村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	4 人	6 人	1 人	11 人

前回の改善計画	・情報共有方法を確立する。ファイリングの仕方を統一（ケアプラン→介護計画→評価結果）しスタッフが情報収集しやすくする。さらに評価からさらなる支援へ展開できるよう記録する ・担当スタッフの紹介を家族等へ行い、介護計画を説明する機会を作る
前回の改善計画に対する取組み結果	・情報共有しやすいよう、ファイリングはケアプラン→介護計画と順番を統一し、宿泊者と通所利用者を区別し1つのファイルにまとめるようにしたため記録もスムーズになった ・可能な限り利用者担当職員を紹介し担当者会議にも参加できるように努めたが、夜勤が多いなどシフト上叶わないことが多かった ・TQM 活動（業務改善、質の向上への取り組み）で利用者の「したい活動」を把握できた ・担当利用者の目標「〇〇したい」は把握している（担当の意識は向上した）がその他の利用者のことを把握できていない者が多い

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	4	5	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	5	4	1	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	4	6	1	11
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	2	8	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・情報共有しやすいように、ファイルはまとまりをもって作成した ・担当利用者の目標「〇〇したい」は把握している ・TQM 活動で利用者のしたい事の把握に努めた ・カンファレンスに参加し家族の話を聞くことができた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・担当以外の目標の把握 ・介護計画の共有ができておらず、活用ができていない（実行可能な目標設定ができていない） ・利用者や家族へ担当の挨拶ができなかった	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ケアプラン、介護計画を伝達するケースカンファレンス日を決め確実に実施する ・担当職員は利用者・家族に担当の挨拶をし、担当者会議の参加や、介護計画の説明の時間がとれない場合はコメントを出す（さらに担当意識が向上することで利用者の事を知ろうとする）	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 11 日 (13:30～14:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	池田・篠塚・藤本・岸本・中道・清水・中村・竹野・白川・井・松村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	3 人	6 人	2 人	11 人

前回の改善計画	・担当（受け持ち）としての役割を明確にする（業務マニュアル追加） ・担当スタッフが受け持ち利用者の担当者会議や家屋チェックなど参加する機会を作る ・ケースカンファレンスの開催を行う（ミーティング議題に入れる）
前回の改善計画に対する取組み結果	・担当業務のマニュアル化はできておらず、ケースカンファレンスはイーティングとは別の日に設定していたが取り組みの甘さがあり確実な開催ができなかった ・担当が担当者会議や家屋調査等に参加する機会はシフト上難しいことが多かったが、可能な限り参加するよう取り組み継続

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	3	7	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	9	0	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2	3	6	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	8	1	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	8	2	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者の心身状況に合わせた基本的ケア（食事形態、入浴方法、移動方法、排せつ介助方法工夫） ・担当ご利用者の情報収集 ・体調に合わせた柔軟な対応、健康観察と異常の	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ケースカンファレンス ・利用者・家族の気持ちの確認 ・担当職員の担当者会議への参加 ・担当職員の再アセスメントとケア内容変更の提案	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・受け持ちとしての役割を明確にする（業務マニュアル作成） ・担当スタッフは担当者会議等に参加ができない場合、意見や提案などのコメントを作成する等で会議参加する ・ケースカンファレンスの日時を決め確実に実施し、利用者の情報共有を促進する	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月11日（13：30～14：30）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	池田・篠塚・藤本・岸本・中道・清水・中村・竹野・白川・井・松村

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	3 人	6 人	2 人	11 人

前回の改善計画	・地域活動・行事の把握を行い、利用者と参加することを通して自宅生活での支援の輪を広げる ・地域運営推進会議へ職員が交代で参加し、地域の方々との繋がる機会を作る
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域行事は回覧板や地域自治会長にお声掛け頂く等把握に努め、花園校区運動会へ利用者と共に参加、又垣ノ内公民館で行われた健康講和「身体は健康はお口から」の講師を務めた ・4 月本妙寺こども園園長と面会させていただき、子供と利用者の交流機会を持ちたい意向を相談。園の和太鼓演奏会や発表会の予行練習に呼んでいただき利用者が子供たちとの交流機会を持つことができた ・大和の餅つきや敬老の日イベントに地域住民、ボランティアに支援をお願いし利用者・職員共に地域との繋がりを体験できた

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
1	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	5	5	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	3	6	2	11
Ⅲ	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	3	6	2	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	1	4	6	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域活動への参加が少しずつ増えてきた ・本人の情報収集は聞き取りやスタッフ間の情報共有は増えつつある	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・運営推進会議への参加は管理者やケアマネジャーばかりでその他の職員の参加できなかった ・地域資源の内容や民生委員の把握ができていないが自分たちの積極性も足りない ・地域資源をケアに活かせていない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域運営推進会議へ職員が交代で参加し、地域の方々との繋がる機会を作る ・地域資源について内容や活用方法等勉強会を行う（年間勉強会の計画に入れる） ・地域での暮らし方について本人への聞き取りを増やし介護計画・支援に活かす	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月11日（13：30～14：30）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	池田・篠塚・藤本・岸本・中道・清水・中村・竹野・白川・井・松村

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	4 人	5 人	2 人	11 人

前回の改善計画	・地域の資源内容を把握する為に地域交流を深める。 ・把握が出来れば事業所だけで支えようとせず活用する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ミーティングを確実にの行い利用者の状況変化や支援内容について共有を図るとともにニーズを確認した ・回覧板で行事を把握し、地域自治会長さんへ支援や参加について相談し、行事を通して利用者と地域の方々との交流の場を設けることができた ・登録利用者や家族の希望は断ることなく柔軟なサービスで対応した ・地域資源の活用 2 件

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	3	6	2	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	8	0	1	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	0	9	2	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	0	9	2	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ミーティングや記録にて利用者の日々の変化に対する情報共有と、それに対する柔軟なサービス対応ができている ・行事を通して利用者と地域の方々との交流の場を作れた ・地域資源の活用 2 件できた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源の活用支援は知意識不足で十分ではない ・限定的な地域の方のみではなく、さらに多くの地域住民との交流ができていない ・利用者の突発的な対応に不慣れで、十分に対応できていないことがある	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域資源の活用方法を学び、突発的な対応もできるよう普段から地域の方との交流を深めておく ・大和カフェ（地域交流拠点を作る）	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月11日（13：30～14：30）
6. 連携・協働	メンバー	池田・篠塚・藤本・岸本・中道・清水・中村・竹野・白川・井・松村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	2 人	4 人	4 人	11 人

前回の改善計画	・地域行事等の情報共有を運営推進会議で聞く機会を作る ・回覧板で大和の広報及び地域との連帯を深める機会を頂く ・ケアマネや管理者以外の職員も担当利用者のカンファレンス等に参加できるようにする
前回の改善計画に対する取組み結果	・管理者やケアマネジャー以外の職員が会議できるよう意識していたが、シフトや人員の問題で調整が困難でありほとんど参加ができなかった ・本妙寺こども園交流、井芹中ナイストライ受け入れ、花園校区運動会、本妙寺桜灯籠設置、自治会健康講和に利用者と参加した ・法人を中心に多職種活用（理学療法・口腔ケア）や指導を受け、連携・協働を図った

◆今回の自己評価の状況

①②③無回答1

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	4	0	6	11
2	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	1	8	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	5	1	5	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	6	3	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・保育園との交流 ・地域イベントへの参加。関りが増えた ・ボランティアとの関りが増えた ・運営推進会議の内容確認、回覧板での行事内容など把握できるようになった ・法人サービスを中心に多職種との関りは増えた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・運営推進会議他。様々な会議への参加（かかわるスタッフが限定的）は人員不足で調整が困難 ・関わる地域の方が限定的（まずは実行がやっと） ・計画性に欠け地域住民との交流拠点とまではなっていない ・自らの事業所サービス等の発信（意識が薄い）	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・管理者・ケアマネジャー以外の職員も運営推進会議やカンファレンスに参加できるようにする（計画を立ててシフトを組む） ・保育園、中学校など世代間交流継続、ボランティアも活用 ・せいじの大和の情報発信（ブログ等活用）	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月11日（13:30～14:30）
7. 運営	メンバー	池田・篠塚・藤本・岸本・中道・清水・中村・竹野・白川・井・松村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	4 人	1 人	4 人	11 人

前回の改善計画	・感染対策を継続しつつ、地域に必要とされる支援ができるよう地域の方々（まずは運営推進委員やボランティアの方等）と情報交換・共有の機会を定期的に持ち、運営に反映していく
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域に必要とされる拠点になれるよう、まずは地域行事や活動へ参加、新たにこども園へ挨拶に行き、交流機会を持てるようアプローチした ・風通しの良い職場風土になるために確実にミーティングを行ない意見交換し、TQM 活動で業務改善に取り組んだ

◆今回の自己評価の状況

④のみ無回答1名あり

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	4	5	1	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	9	1	1	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	4	5	3	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	2	3	5	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員全体で利用者等からの意見や苦情の共有、それに対する対応の話し合いができている ・職場の雰囲気も良く意見が言いやすい ・運営推進会議の内容は議事録や、参加スタッフの発信で情報共有できている ・保育園行事に参加するなど、少しずつ地域との繋がりができてきた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域行事へ積極的に参加できておらず、関りはまだ薄い（日々の業務で追われている） ・地域交流はイベントばかりで普段の交流拠点について具体的行動が起こせていない ・事業所のあり方がどうあるべきか理解できていない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域と拠点づくりとして大和カフェを毎月1回、ボランティアの方と協働して運営する ・多くの職員が地域活動参加の必要性を理解するとともに、参加できるよう業務調整を行い地域との馴染みの関係作りを促進する	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月11日（13：30～14：30）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	池田・篠塚・藤本・岸本・中道・清水・中村・竹野・白川・井・松村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	5 人	2 人	3 人	11 人

前回の改善計画	法人内外、事業所内の研修及び勉強会の計画を立てるとともに、参加できる環境を整えスキルアップ・サービスの質向上を図っていく
前回の改善計画に対する取組み結果	・法人研修、事業所内勉強会参加は必須とし計画的に学習した（オンライン参加） ・TQM 活動を行い業務改善、質の向上に取り組んだ

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1	5	4	1	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	3	3	5	11
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	1	8	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	8	1	2	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・定期的な事業所内勉強会は実施できた（担当者の学習機会となった） ・資格取得のため勉強している ・介護福祉士合格 2 名 ・法人の研修（オンライン）に参加している ・事故防止などリスクに関する報告と対応についての話し合い ・生産性向上委員としての勉強とマネジメント	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・自発的な研修参加（スキルアップへの意欲が乏しい） ・地域連絡会への参加（包括支援センターなどの主催するサロンのメンバーでない）	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・目標管理による目標設定、達成支援を行なう ・地域の連絡会や勉強会へ参加できるよう包括支援センター等に声をかけてもらい参加する	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年12月11日（13：30～14：30）
9. 人権・プライバシー	メンバー	池田・篠塚・藤本・岸本・中道・清水・中村・竹野・白川・井・松村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	7 人	1 人	2 人	11 人

前回の改善計画	・ケアの場面において、不適切なケアを是正し、虐待の芽を摘む。（スピーチロック「ちょっと待って、動かないで」・言葉のかけ方や声のトーン等に配慮） ・身体拘束・虐待防止・成年後見制度の勉強会を実施し理解を深める ・環境、空間を上手く活用し、プライバシーの保護に努める
前回の改善計画に対する取組み結果	・虐待の芽チェックリスト（アンケート）を行い職員のケアの振り返りを行った ・虐待防止委員会、認知症ケア推進委員会主催による研修、ケース検討などの機会をもった

◆今回の自己評価の状況

無回答 1 名

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	2	9	0	0	11
②	虐待は行われていない	2	9	0	0	11
③	プライバシーが守られている	0	8	3	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	1	0	10	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	0	8	3	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・言葉遣い、口調に気をつけている ・不適切なケアについて早期に話し合い、検討している ・スピーチロックしないよう声掛けの仕方に気をつけている ・度々の勉強会で振り返り、学びを深めている ・利用者の情報は口外しない、申し送りの場所を考えるようになった	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・気持ちに余裕がない時良い声掛けができず、対応も雑になってしまうことがある（昨年より平均介護度が上がり対応に時間を要するようになった） ・スタッフの声が大きい、口調が荒い時があることにスタッフ自身が気付いていないことがある ・利用者がそばにいるのに声の大きさや場所を配慮せず、申し送りや情報交換が行われていることがある ・成年後見制度の対象者はいない	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・不適切ケアにならないよう定期的学習や、ケア振り返りアンケートを継続し意識を向上させる ・感情コントロールはむずかしいもの、ケアの交代など職員間で依頼できるよう「テークケア」を使用 ・業務効率、スタッフの働く環境改善に向けて生産性向上委員会を中心として意見交換・検討を行う	

外部評価 地域かかわりシート①

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週 32 時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	9	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	9	0	0
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	9	0	0
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	9	0	0

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ○開かれた事業所にする ・家族面会を自由にする ・季節行事に地域の方に来てもらい、利用者や職員・事業所を知ってもらう ・ボランティア登録を増やす	9	0	0
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	8	0	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	8	0	1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	7	0	2
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	7	0	2

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わから ない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ○地域交流促進 ・事業所行事、大和カフェ開催 ・地域のサロンで事業所の紹介を行う ・回覧板活用による広報	8	0	1
1	職員はあいさつできていますか？	8	0	1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	8	0	1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	8	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	8	0	1

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わから ない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ○利用者を地域と繋ぐ支援 ・利用者と地域の行事に参加する ・利用者を通して、家族や民生委員の方とケアプランカンファレンスを行う	7	0	2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	9	0	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	6	1	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	9	0	0
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	4	1	4

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ○運営推進会議の充実 ・事業所及び地域の困りごと等の確認 ・イベントや行事等の情報共有 ・地域在住の事例検討会実施	9	0	0
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	9	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	7	1	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	9	0	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	9	0	0

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ○事業所安全対策の強化 ・避難訓練に運営推進会議の方や近隣住民の方に参加してもらう ・災害時は可能な限りで地域支援を行う	8	0	1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	7	1	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	4	1	4
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	8	1	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	7	0	2

以上で終了です。ありがとうございました。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	9	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	9	0	0
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	9	0	0
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	9	0	0

【上記 4 つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・ミーティングを確実に行う等し、全員で改善計画が実行できていると感じた

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

○利用者支援の質向上

- ・ミーティングの充実
- ・利用者の支援情報共有と自立支援

※業務上、全員揃う事が難しいため、書面回覧などで意思統一や、意見反映が図られており、サービスの質向上に取り組まれていた

【今回の 9 つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・地域活動への意欲を感じるが、サービス提供に無理をきたさないように。きちんとしていれば地域は見ているので自然と関りは増えてくると思う
- ・様々な目標において達成時期の設定をしたほうが良いと思う

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・情報伝達・共有において、サインをするうえで内容の理解度はスタッフ間で差があるのではないか？

【改善計画】

- ・ミーティング継続（第 2 月曜日）
- ・ケースカンファレンスを毎月 1 回行う（第 3 月曜日）→介護計画・評価の徹底
- ・新人教育マニュアルの作成（6 月までに）
- ・業務マニュアルの改訂（6 月までに）

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	9	0	0
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	8	0	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	8	0	1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	7	0	2
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	7	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・事業所の中に入る機会がないためわからない
- ・事業所の場所が奥に入り込んでおり分かりにくい

【前回の改善計画】

○開かれた事業所にする

- ・家族面会を自由にする
- ・季節行事に地域の方に来ていただき事業所・職員・御利用者を知ってもらう
- ・ボランティア登録（家族ボランティア含む）を増やす

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・コロナもあるため、行ってもいいのかと遠慮してしまう
- ・介護の世界だけでなく、地域交流ができにくい風潮にある

【今回の改善計画】

○事業所の中へ入ってもらう機会を増やす

- ・餅つき（1月）、避難訓練（3月）へ地域の方に協力を頂き、事業所や利用者の事を知ってもらう
- ・4月から大和カフェ（月1回）を開催する（地域ボランティアとともに）
- ・ボランティアの活用

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8	0	1
1	職員はあいさつできていますか？	8	0	1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	8	0	1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	8	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	8	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・スタッフの方は皆親切で対応も良い印象だが、忙しいのはわかっているのであまり行くと迷惑になりそうと考えてしまう

【前回の改善計画】

- ・大和カフェ開催
- ・地域サロンで事業所の紹介を行う
- ・回覧板の活用

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見

・カフェなどするときは出来る協力はしたい。集まるところがあれば話したい人は結構いると思う

【改善計画】

- ・大和カフェ 毎月開催 第4水曜日 13時半～15時 大和の玄関前で。
- ・ブログでの広報
- ・地域行事への参加
- ・地域住民（花園6町内）への健康講和

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7	0	2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	9	0	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	6	1	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	9	0	0
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	4	1	4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・藤田町内会長、本妙寺こども園など声をかけてもらえるようになり、地域行事や、保育園行事に利用者と参加出来た。近隣との繋がりができてきたように思う
- ・利用者の住む地域の方を交えた会議やご近所の心配な方に関わることはできていない

【前回の改善計画】

○利用者を地域と繋ぐ支援

- ・利用者とともに地域行事に参加する
- ・利用者を通し、家族や民生委員の方等とケアプランカンファレンスを行う

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・事業所のサービスで事足りているなら、地域の方に支援を求めることは少ない。しかし生活の質の視点で交流が継続していることが大切ではないか。これまでの繋がりに自分たちが加えてもらうよう支援していきたい

【改善計画】

- ・利用者と花園校区の行事に参加する（文化祭、町内イベント）
- ・本妙寺こども園の子供たちと芋の上付け（5月）、収穫（11月頃）
- ・ケアプランカンファレンスをまずは確実に実施。可能な限り家族に参加してもらう

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	9	0	0
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	9	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	7	1	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	9	0	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	9	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・この運営会議は、とても活気があり良い。自分たちも勉強になる
- ・地域課題、地域の心配な方などの議論まではできていない

【前回の改善計画】

- ・事業所及び地域の困りごとやニーズの確認、イベント等情報共有

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・近所の心配な方などを取り上げる項目を足すと良いかも。「何かないですか」と言われてもすぐには思いつかないことが多い

【改善計画】

○運営推進会議の充実

- ・事業所報告のみではなく、地域の課題、近所の心配な方の項目を追加し皆で情報共有や検討をする

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8	0	1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	7	1	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	4	1	4
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	8	1	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	7	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

災害時はどう動くのか、具体的に想像ができないが、近くの公民館や小学校などが避難所になっている。体の不自由な方は公的避難所は難しいので、そのような方の支援をしてほしい

【前回の改善計画】

○事業所の安全対策の強化

- ・避難訓練に推進会議委員の方や近隣住民に参加してもらう
- ・災害時は可能な範囲で地域支援を行う

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・もしも災害が起こったら、不自由な方等の受け入れをお願いしたい

【改善計画】

○事業所の安全対策強化と地域支援

- ・運営推進委員の方や地域住民、家族とともに避難訓練を行う
- ・災害時の炊き出し訓練を行う

令和 7 年 3 月 28 日 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人金澤会	代表者	金澤知徳	法人・事業所の特徴	せいじの大和は、通いを中心に、泊りや訪問を組み合わせ、可能な限り住み慣れた自宅で生活できるよう支援します。利用者や家族の状況に応じて迅速柔軟な対応を目指します。さらに母体である金澤会青磁野リハビリテーション病院初め関連事業所と連携し、医療ニーズへの対応を強化しました。また老人保健施設青翔苑等との協働による多様な福祉サービスの実現、多職種協働によりサービスの質向上に取り組みます。
事業所名	小規模介護事業所 せいじの大和	管理者	池田真佐美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	6 人	1 人	0 人	1 人	1 人	0 人	2 人	0 人	11 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	○利用者支援の質向上 ・ミーティングの充実（できる限り集まり話し合う。欠席者に確実に伝達する工夫） ・新人教育マニュアル作成 ・調理担当者も申し送りを聞く	・事業所のサービスの質を向上するため、まずはミーティングを確実に実行し情報共有が進んだ ・新人教育マニュアルは簡易なものだけで形になっていない ・調理担当者は時差出勤で申し送りに参加できなかったが、食事等に関する事など可能な限りリーダーが伝達した	・忙しい中、職員全員のアンケートがまとめられていたと思う ・ミーティングを確実に行う等し、全員で改善計画が実行できていると感じた ・情報共有の回覧は特に理解度などに差がでるのではないかな。その理解度把握をどうするかが課題	○利用者支援の質向上 ・ミーティング継続（第2月曜日） ・ケースカンファレンスを毎月1回行う（第3月曜日）→介護計画・評価の徹底 ・新人教育マニュアルの作成（6月までに） ・業務マニュアルの改訂（6月までに） ・情報共有回覧板を一人一人回す
B. 事業所の しつらえ・環境	○開かれた事業所にする ・家族面会を自由にする ・季節行事に地域の方に来ていただき事業所や利用者・職員を知ってもらう ・ボランティア登録を増やす（家族ボランティア含む）	・家族面会は体調チェックをしたうえで時間帯の制限なく自由にできた ・忘年会、餅つき、避難訓練に運営推進会議の委員の方や特定の家族や地域の方に声をかけ参加してもらった	・事業所の中に入る機会がないためわからない ・事業所の場所が奥に入り込んでおり分かりにくい	○事業所の中へ入ってもらえる機会を増やす ・餅つき（1月）、避難訓練（3月）へ地域の方に協力を頂き、事業所や利用者の事を知ってもらう ・4月から大和カフェ（月1回）を開催する（地域ボランティアとともに）・家族会を行う（8月）
C. 事業所と地域のかかわり	○地域交流促進 ・大和カフェを開催 ・地域サロンで事業所の紹介を行う ・回覧板の活用による広報	・大和カフェと行事を一緒にして開催したが、地域交流拠点づくりとは言えない ・町内の健康講和を行い、その様子を回覧板にのせてもらった	・スタッフの方は皆親切で対応も良い印象だが、忙しいのはわかっているのあまり行くと迷惑になりそうと考えてしまう ・カフェなどは手伝いたい	○地域交流拡大 ・大和カフェ 毎月開催 第4水曜日 13時半～15時 ・ブログでの広報 ・地域行事への参加 ・地域住民への健康講和

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	○利用者を地域と繋ぐ支援 ・利用者とともに地域行事に参加する ・利用者を通し、家族や民生委員の方等とケアプランカンファレンスを行う	・花園校区運動会、町内健康講和、本妙寺こども園の和太鼓演奏会、本妙寺トンネル開通式等利用者と参加した ・地域の方とのケアプランカンファレンスはできなかった	・藤田町内会長、本妙寺こども園など声をかけてもらえるようになり、地域行事や、保育園行事に利用者と参加出来た。近隣との繋がりができてきたように思う ・利用者の住む地域の方を交えた会議やご近所の心配な方に関わることはできていない	・利用者と花園校区の行事に参加する（文化祭、町内イベント） ・本妙寺こども園の子供たちと芋の上付け（5月）、収穫（11月頃） ・ケアプランカンファレンスをまずは確実に実施。可能な限り家族に参加してもらう
E. 運営推進会議を 活かした取組み	○運営推進会議の充実 ・事業所及び地域の困りごとやニーズの確認、イベントなどの情報共有 ・地域事例検討会実施	・運営推進会議で事業所の状況、活動内容はお伝え出来たが、地域の方の意見を聞くことがすくなかった	・この運営会議は、とても活気があり良い。自分たちも勉強になる ・地域課題、地域の心配な方などの議論まではできていない	○運営推進会議のさらなる充実 ・事業所報告のみではなく、地域の課題、近所の心配な方の項目を追加し皆で情報共有や検討をする
F. 事業所の 防災・災害対策	○事業所安全対策の強化 ・避難訓練に推進会議の方や近隣住民の方に参加してもらう ・災害時は可能な範囲で地域支援を行う	・1回だが避難訓練に参加していただいた。その後、備蓄している非常食を食べてもらい、災害時支援のイメージを示した	災害時はどう動くのか、具体的に想像ができないが、近くの公民館や小学校などが避難所になっている。体の不自由な方は公的避難所では対応が難しいので、そのような方の支援をしてほしい	○事業所の安全対策強化と地域支援 ・運営推進委員の方や地域住民、家族とともに避難訓練を行う ・災害時の炊き出し訓練を行う

